

内部用

2液型ポリウレタン樹脂塗料

無鉛

ウレコート



確実な保護・美装を多用途にこなします。

ウレコートは、主剤(A液)のポリオールと、硬化剤(B液)ポリイソシアネートとの反応を利用した、二液型のウレタン樹脂塗料です。

主剤(A液)と硬化剤(B液)を、計量、混合することにより、反応を開始。

形成された塗膜は、一液型常温乾燥の塗膜に比べ、緻密かつ強靱な性能を有します。

特長

汎用性が高く、ツヤ、密着性もすばらしい。

常温乾燥で
焼付に勝る性能!
密着性にも
優れています

耐薬品性
耐溶剤性
耐汚染性
耐摩耗性に
優れています

用途

施設や設備のペイントを広範囲に美しく
—屋内用・屋内使用対象物—

工作機械
精密機械
その他機械類
などの
金属部

高級家具
運動具
その他一般木工類
などの
木部

容量・色相・配合比

品名	色相	容量			配合比(重量比)	
		A液	B液	セット	A液	B液
ウレコート	白・黒・赤・赤錆 黄色・紺・クリアー	16kg	8kg	24kg	2	1
		4kg	2kg	6kg		
		1kg	0.5kg	1.5kg		
ウレコート 指定色	淡彩色 中彩色 濃彩色	16kg	8kg	24kg	2	1
		4kg	2kg	6kg		
ウレコート 金属用プライマー	赤錆色 (F09-30L近似色)	16kg	8kg	24kg	2	1
		4kg	2kg	6kg		
		1kg	0.5kg	1.5kg		
ウレコート サーフェーサー	白色	20kg	4kg	24kg	5	1
		5kg	1kg	6kg		
ウレコートシンナー	—	16ℓ			—	—
		4ℓ				
		1ℓ				

耐薬品性

※試験結果は弊社における試験に基づくもので保証値ではありません。
※判定 ○=異常なし

試験項目	試験結果	試験条件
耐水性	○	水道水、7日間浸漬
耐塩水性	○	飽和食塩水、7日間浸漬
耐酸性	○	10%塩酸水溶液、7日間浸漬
	○	10%硫酸水溶液、7日間浸漬
耐アルカリ性	○	10%硝酸水溶液、7日間浸漬
	○	10%水酸化ナトリウム水溶液、7日間浸漬
耐ガンリン性	○	飽和水酸化カルシウム水溶液、7日間浸漬
耐ガンリン性	○	ガソリン、7日間浸漬
耐溶剤性	○	トルエン、7日間浸漬
	○	ブタノール、7日間浸漬
耐油性	○	ヒマシ油、7日間浸漬
耐煮沸水性	○	煮沸水、2時間浸漬

性状・一般物性(ウレコート・白色)

試験項目	試験結果	試験条件
外観	A液	着色粘稠液
	B液	透明粘稠液
粘度 A・B混合液	500mPa・s	BH型粘度計、23℃
可使用時間	4時間	23℃
上塗可能時間	8~24時間	23℃
指触乾燥	13分	23℃
完全硬化	7日間	23℃
引っかかり硬度	2H	JIS K 5600 鉛筆法
鏡面光沢度	100	JIS K 5600 入射角60度
耐屈曲性	合格	JIS K 5600 円筒形マンドレル法2mmφ
耐おもり落下性	合格	JIS K 5600 デュボン式、500g×50cm
摩耗質量	30mg	JIS K 7204 テーパー式摩耗試験機
付着性	100/100	JIS K 5600 クロスカット法 軟鋼板
ホルムアルデヒド放散等級	F★★★★	日本塗料工業会 認定番号H01074

希釈割合 ※専用シンナー:ウレコートシンナー

品名	スプレー塗り	刷毛塗り
ウレコート エナメル	50~60%	5~20%
ウレコート クリアー	50~70%	20~40%
ウレコート金属用プライマー	20~30%	5~20%
ウレコートサーフェーサー	20~30%	—

標準工法

■ ウレコートエナメル (金属部)

工程	材料名	使用量(kg/m ²)	上塗可能時間(23℃)	備考
1	素地調整	—	—	錆、黒皮は、ディスクサンダー等(JASS 2種ケレン)で除去。 付着物は、ワイヤーブラシ等で除去。油分は、ウレコートシンナー等で完全に除去。
2	ウレコート金属用プライマー ウレコートシンナー	0.13 0.04	8~24時間	ウレコート金属用プライマーをA液:B液=2:1(重量比)の割合にて、計量、混合、電動攪拌機で攪拌し、ウレコートシンナーで30%希釈、充分攪拌後、スプレーにて塗布。
3	ウレコートエナメル ウレコートシンナー	0.13 0.07	8~24時間	ウレコートエナメルをA液:B液=2:1(重量比)の割合にて、計量、混合、電動攪拌機で攪拌し、ウレコートシンナーで50%希釈、充分攪拌後、スプレーにて塗布。
4	ウレコートエナメル ウレコートシンナー	0.13 0.07	3~5日間	ウレコートエナメルをA液:B液=2:1(重量比)の割合にて、計量、混合、電動攪拌機で攪拌し、ウレコートシンナーで50%希釈、充分攪拌後、スプレーにて塗布。

※工程2,3において、24時間以上経過した場合、サンドペーパーで研磨し、次工程に移って下さい。

■ ウレコートエナメル (木部)

工程	材料名	使用量(kg/m ²)	上塗可能時間(23℃)	備考
1	素地調整	—	—	サンドペーパー#180で研磨。
2	ウレコート サーフェーサー ウレコートシンナー	0.15 0.05	18時間~	ウレコートサーフェーサーをA液:B液=5:1(重量比)の割合にて、計量、混合、電動攪拌機で攪拌し、ウレコートシンナーで30%希釈、充分攪拌後、スプレーにて塗布。
3	研磨と除塵	—	—	サンドペーパー#320にて木の毛羽立ちを研磨し、除塵。
4	ウレコートエナメル ウレコートシンナー	0.13 0.07	18時間~	ウレコートエナメルをA液:B液=2:1(重量比)の割合にて、計量、混合、電動攪拌機で攪拌し、ウレコートシンナーで50%希釈、充分攪拌後、スプレーにて塗布。
5	研磨と除塵	—	—	サンドペーパー#400にて木の毛羽立ちを研磨し、除塵。
6	ウレコートエナメル ウレコートシンナー	0.13 0.07	3~5日間	ウレコートエナメルをA液:B液=2:1(重量比)の割合にて、計量、混合、電動攪拌機で攪拌し、ウレコートシンナーで50%希釈、充分攪拌後、スプレーにて塗布。

※工程2において、下地条件により、2回塗装する場合があります。

■ ウレコートクリアー (木部)

工程	材料名	使用量(kg/m ²)	上塗可能時間(23℃)	備考
1	素地調整	—	—	サンドペーパー#180で研磨。
2	ウレコートクリアー ウレコートシンナー	0.12 0.08	18時間	ウレコートクリアーをA液:B液=2:1(重量比)の割合にて、計量、攪拌し、ウレコートシンナーで70%希釈し、充分攪拌後、スプレーにて塗布。
3	研磨と除塵	—	—	サンドペーパー#320にて、木の毛羽立ちを研磨し、除塵。
4	ウレコートクリアー ウレコートシンナー	0.12 0.06	18時間	ウレコートクリアーをA液:B液=2:1(重量比)の割合にて、計量、攪拌し、ウレコートシンナーで50%希釈し、充分攪拌後、スプレーにて塗布。
5	研磨と除塵	—	—	サンドペーパー#400にて、木の毛羽立ちを研磨し、除塵。
6	ウレコートクリアー ウレコートシンナー	0.12 0.06	3~5日間	ウレコートクリアーをA液:B液=2:1(重量比)の割合にて、計量、攪拌し、ウレコートシンナーで50%希釈し、充分攪拌後、スプレーにて塗布。

※工程2において、下地条件により、2回塗装する場合があります。

※フローリング等の床面には施工を避けて下さい。

※沸騰したやかん等、高温の物を置いた場合、白化します。

施工上の注意事項

- ウレコートは、屋内用なので、屋外には使用しないで下さい。屋外に使用されますと、塗膜にやけ(黄変)が起こります。
- 2液反応硬化型塗料だから、配合比を厳守して下さい。
- A液、B液の混合と同時に反応が進み、次第に粘度が上昇しゲル化しますので、使用可能時間(ポットライフ)内に使い切るようにして下さい。使用可能時間(ポットライフ)は4時間(23℃)です。
- 希釈用シンナーは、ウレコートシンナーを必ず使用して下さい。他種シンナーを使用しますと、シンナーと反応を起こして乾燥不良になるか、性能が低下しますので絶対に避けて下さい。
- 下塗り用酒精ニス、ラッカー等の使用は、上塗りとの密着性を阻害しますので使用しないで下さい。
- 工場塗装板、旧塗膜への塗装は、必ず充分研磨または、ケレン後、行って下さい。研磨粉は、完全に除去して下さい。
- 白灯油等が塗布してある場合、素材の乾燥状況により、ハジキ、乾燥不良等の問題が生じる場合がありますのでご注意ください。(表面処理用としての油類の使用は、避けて下さい。)
- ウレコートは、硬化しますとシンナーにも溶けなくなりしますので塗装用具は使用後、すぐにシンナーで十分に洗浄して下さい。
- 硬化剤(B液)は、空気中の湿気と反応する性能をもっていますので、使用後は蓋の周囲を良く拭いて

- ポリエチレン製の中栓を必ずして冷暗所に保管して下さい。主剤(A液)、シンナーも同様に保管して下さい。
- 施工時には引火、爆発、中等等の事故防止のため、十分な換気をし、有機ガス用防毒マスク、保護メガネ、手袋等保護具を着用して下さい。発火原因となる電気溶接、ガス溶断との並行作業を避けて下さい。
- 気温5℃以下、湿度80%以上では施工しないで下さい。硬化時間、硬化後の性能は、施工時の温度に大きく影響されます。

10℃以下	15℃~25℃	30℃以上
硬化後退 (カブリ、シワ、軟化等発生)	最適	硬化促進 (ポットライフ短縮)

- 材料の保管、取り扱いについては、消防法、労働安全衛生法、その他に基づき、充分な管理をお願いします。
- 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時および施工後の換気を充分に行ってください。
- 廃棄する時は、産業廃棄物として処理して下さい。

引火性あり	警 告		有害性あり	感作性あり
	1.引火性の液体である。 2.有機溶剤中毒の恐れがある。 3.健康に有害な物質を含有している。 4.皮膚に付着するとかぶれを起こす恐れがある。	5.変異原性の恐れがある。 6.発癌性の恐れがある物質を含有している。		
業務用	<p><注意事項> 1.通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ、また、重い健康障害を起こす恐れがありますので、取り扱いについては、容器に表示された注意事項を守って下さい。</p> <p>2.アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取り扱いを避けて下さい。(呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります)</p> <p>※詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。</p>			

●お問い合わせは・・・

東日本塗料株式会社



本 社/〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306
 埼玉工場/〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518
 仙台営業所/〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320
 新潟営業所/〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730
 静岡営業所/〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063



※製品改良のため、予告なく仕様、性能、カタログ内容を変更する場合があります。
 ※諸官公庁等の特記仕様がある場合には、それを最優先して下さい。

URL <https://www.hnt-net.co.jp> CATALOG NO.3 '21.08.3000